



就労支援事業者機構

AES NEWS No.29

令和8年7月発行（第29号）
NPO法人青森県就労支援事業者機構
〒030-0861 青森市長島1-3-28
プラザあすなろ2階
あおり更生保護センター内
TEL 017-718-3184 FAX 017-718-3185



就労支援と再犯防止

一人でも多くの就労定着を 実現するために



青森保護観察所
所長 宮下 隆

青森県就労支援事業者機構の皆様には、日頃から、保護観察を受けている者などへの就労先確保を始めとする更生保護活動へのご理解と多くのご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

私は、この春の人事異動により釧路保護観察所から転任してまいりましたが、東北勤務は12年前に秋田で勤務した以来であり、青森で暮らし、勤務することは初めてのため、皆様から教えていただくことが多くなるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

私たちの更生保護は、従来から、犯罪をした人や非行のある少年に対して指導と支

援をすることで新たな犯罪等を防ぎ、地域社会の安全と安心に寄与している制度です。平成28年に、いわゆる再犯防止推進法が成立・施行され、その理解は一般の方々にも広がりつつあるように感じられるところ、不安定な就労が再犯の要因となっていることは現在へと引き続く課題であり、再犯を防ぐという意味において就労支援がとても重要であることは言うまでもありません。ただ、そのことは、同法以前から指摘されているものでもあり、雇用に協力してくれる事業者（協力雇用主）と連携し、組織化（協力雇用主会）され、平成20年以降にはNPO法人化（就労支援事業者機構）されるなど、たくさん協力者とともに進められております。

また、平成27年から刑務所出所者等就労支援事業による各種取組のほか、身元保証制度や就労奨励金の支給など協力雇用主への直接的な支援の充実化も図られており、それらの方法を取り入れつつ、一人でも多くの就労定着を実現するため、引き続き御協力をお願いします。

再犯を防止して安全・安心な社会へ

犯罪や非行をした人の多くは、事件への反省を踏まえて生活を立て直し、社会の健全な一員として暮らしていきます。

しかしながら、安定した職業に就くことや住居を確保することができないことなどのために円滑な社会復帰をすることが困難となり、再び犯罪や非行をしてしまう人もいます。

こうした再犯者を減らすことが、犯罪のない安全・安心な社会を築くためには重要です。犯罪や非行をした人の立ち直りを支える再犯防止に関する取組などを紹介しています。



政府広報オンライン（防犯）



令和8年度 第1回理事会・通常総会

令和7年度事業報告及び活動決算報告などを承認

5月25日(月)、青森保護観察所において理事会・通常総会が開催されました。理事会は、12名(書面表決6名)の理事の出席、通常総会は代理出席や書面表決を含め105名の出席がありました。

川嶋勝美会長と青森保護観察所宮下隆所長のあいさつの後、令和

7年度事業報告及び活動決算報告の議案審議が行われ、いずれも承認されました。

また総会終了後は、宮下所長の御講話、情報交換会が開催されました。今年度は、更生保護協会と合同で開催し、親睦を深めました。



令和8年度第1回理事会・通常総会

東北6県合同会議開催に向けて

令和8年8月20日(木)仙台市で開催される東北6県合同会議に向けた、準備の一環として3月2日(月)、山形県機構常務理事 小林様及び秋田県機構 会長 伊藤様にご来訪され、意見交換を行いました。また、4月9日に、福島県機構と宮城県機構及び東北地方更生保護委員会を訪問し、合同会議の開催に向けた協議や情報共有を行いました。

各県の更生保護関係者との交流を通じて、地域ごとの取組や課題について理解を深めるとともに、東北全体で連携を強化していくことの重要性を改めて確認する機会となりました。



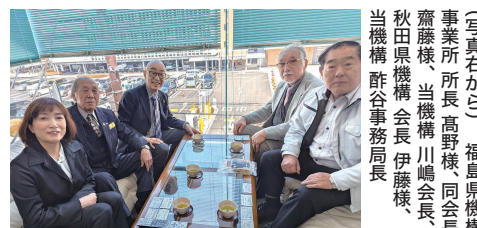
(写真左から)当機構 会長 川嶋、山形県機構 常務理事 小林様、青森保護観察所・前所長 正木様、秋田県機構 会長 伊藤様



(写真右から)宮城県機構 事業所 所長 当摩様、宮城県 東華会 理事長 千葉様、当機構 川嶋会長、秋田県機構 会長 伊藤様



(写真左から)東北地方更生保護委員会・鈴木管理官様、同・梶川事務局長様、同・岸委員長様、秋田県機構 伊藤会長様、当機構 川嶋会長



(写真右から)福島県機構 事業所 所長 高野様、同会長 齋藤様、当機構 川嶋会長、秋田県機構 会長 伊藤様、当機構 酢谷事務局長

(株)青森ソイルリサーチ様から高額寄付

6月9日(火)あおり更生保護センターにご持参いただきました。

温かいご厚意に深く感謝申し上げます。いただきましたご寄付は、更生保護活動の充実と支援を必要とする方々のために大切に活用させていただきます。



(写真右から)株青森ソイルリサーチ代表取締役 福士 豊 様、当機構 酢谷事務局長

